

## 運営委員会

開催日：2019年5月22日（水）19時50分～

出席者：木村、栗原、五島先生、佐藤ゆ、清水、堀尾、森岡

### 【五島先生より】

- 3月タベマチ祭りは大盛況だった。アンケートの集計をした。→ホームページに掲載する。レポートにして。→堀尾対応
- 地域とどうコラボするか…。今後、長いスパンで新食研とコラボできるかを考えて生きたい。同時に、この7月に10年目。新たにいろんなチャレンジをしていきたいと考えている。
- ホームページをアップしているが、会員が議事録を見るだけになっているが、Noteへ移行していく。今は併用しつつ、いつかうまくできるようになったら移行していく。
- 7月勉強会は、新食研設立10周年として五島先生がお話される。…新食研に関するアンケートをとることにする。活動を動画で観るとか。

### 【テーマでディスカッション】

- 森岡さんから：摂食嚥下機能のことを知らない専門職がまだいっぱいいる。五島先生が講演された。ケアマネットの時にアンケートをとったが、「知らなかった」という回答が多かった。勉強会も大好評。目からウロコという意見も多かった。…病院から在宅へ戻るときのチームをつくるのに、地域の専門職にもっと周知をしないといけない。地元の専門職をもっと多く入れるようにしよう。どうしたら地元の専門職を多く入れることができるのか。新宿区在勤。
- どれだけの人をいっぱい連れてこれるだろうか。
- 食支援研修WG…ここに人を呼ぶのが難しい。5人集まってもやるべきなのではないか。
- 講演なら聞くだけど、新食研は作ることが大きいので、意識が高い人でなければ集まってこないのかも。
- 対象者を広くすることが良いかも。新宿枠は安く、外部は通常の金額というように設定する。
- 在宅に戻る人のために支援チームを作る。いっぱい選択肢がほしい。今は1チーム、2チームくらいしか作れない。「その人」がいないとチームが作れないとなると穴が開いてしまう。理解している看護師がどれだけいるか。
- 食支援研修については運営委員会で考えて良い。
- 新食研の母数はあまり気にしなくていいのでは。機会をどう持っていけばいいか。
- 研修ミニ版の機会を多くしても良い。
- 勉強会を平日の開催にするのも良いのかも。…土曜日はなかなか来れないことがある。
- 奇数月は土曜日、偶数月は平日というようにするのも1つ。
- 秋から考えてみよう。
- 講演の時間とグループワークの時間を明確にわけることが良い。
- 10周年に向けて、何かをします？…動画を作る？ 少なくとも、その日の勉強会は何かをします。30秒の動画を作って、Facebookに流すとか。チラシを作ってもらおう。

➤ 「10周年おめでとう」を誰かに言ってもらおう。丸山先生、秋山さん？

次回予定

開催日：2019年7月17日（水）

開催時間：19時30分

開催場所：ふれあい歯科ごとう